

総合型選抜実施要項について

佐野日本大学短期大学

佐野日本大学短期大学では、『令和3年度大学入学者選抜』に関し、総合型選抜については、従来のAO入試で実施していた面接・書類審査に加えて、新たに受験生によるプレゼンテーションを導入します。これについて、下記要領を参考にしてください。

記

1 総合型選抜の流れ

(1) プレゼンテーション (3~5分)

① 下記のテーマから1つ選び、プレゼンテーションを行う。

- 「高校生活で頑張ったこと」
- 「将来の夢」

② 資料等の活用

ア 自作のポスターや作品等、資料の活用を認める。紙媒体の資料はA4サイズ片面で3枚までとする。年表や新聞記事など、細かな文字を含む資料は、本人用のほかに、試験官用を2部印刷(複写)し、名前を明記して当日持参すること。提出は任意。

イ ノートパソコンやタブレット端末を持ち込み、写真を映すことを認める。ただし、動画を映すことは認めない。本学の学内Wi-Fiへの接続やモニター・プロジェクター等の使用は認めない。また、本学パソコンの貸し出しも行わない。

(2) 面接 (10分程度)

プレゼンテーションの内容のほか、志望理由、進路希望等について質問する。

2 評価項目

(1) 志望の意欲 : 本学で学びたいことや将来の進路希望について具体的な考えを有している。

(2) 態度・マナー : 高等教育機関で学ぶ者として、ふさわしい態度・マナーを備えている。

(3) 社会性 : 社会において他者と広く協働するために、必要な態度や能力(リーダーシップ能力など)を持っている。

(4) 問題の把握力、解決策の提案力、実践的な判断力

①問題の把握と解決策の提案 :

問題を発見し、それについての解決策を提案することができる。

②実践的な判断力 :

解決策の妥当性を吟味し、また結果について反省して次の行動へとつなげることができる。

(5) 意見を発表する力、コミュニケーション力

①発表力

発表(プレゼンテーション)の内容を分かりやすい言葉や文章で表現することができる。

自分の主張を、根拠となる情報を示しつつ、筋道を立てて展開することができる。

②コミュニケーション力

面接時の質問の意図を理解して、適切に答えることができる。

総合型選抜要項に関する補足説明

- 1 総合型選抜試験の受験者がプレゼンテーションを行うに際しては、要項の2評価項目（4）の「問題の把握力、解決策の提案力、実践的な判断力」との関係で、以下の点に注意すること。
 - (1) 「高校生活で頑張ったこと」をテーマとして選ぶ者
高校時代にどのような困難（課題・問題）に出会い、どのように解決（克服）しようとしたか、その努力の結果はどうであったか、それらを踏まえて現在（あるいは将来に向けて）どのようなことを考えているか、を発表の内容に加えること。
 - (2) 「将来の夢」をテーマとして選ぶ者
夢の実現に向けてどのような課題や困難に立ち向かう必要があるか、それらをどのような仕方
で解決しようと考えているか、もしその考えがうまくいかない場合、どう対応しようと考えて
いるか、を発表の内容に加えること。
- 2 プレゼンテーションのための資料作りに際して、下の考慮要素を参考にすることができる。
ただし、これらを必ず取り入れる必要はない。
 - (1) 年表、行動計画表
長期間にわたって取り組んだ活動や、長期的な目標（夢）について発表する場合は、年表や行
動計画表を示すことで、話の内容を整理することができる。
 - (2) 写真
活動や取り組みの様子を伝えるのに、写真を効果的に用いると、相手に対して強い印象を与え
ることができる。ただし、あくまで補助資料として利用するものであり、自分の言葉で分かり
やすく説明することが大切である。
 - (3) 作品、賞状メダル、新聞記事等
過去の活動の成果や、それに対する社会的な評価を示すために、最終成果物である作品（ある
いはその写真）や、賞状、メダル、新聞記事などを用いると効果的である。新聞記事は、例え
ば自分がある目標を抱くきっかけになった出来事や人物に関する記事など、将来の夢について
説明するための補助資料としても用いることができる。
 - (4) 活動報告書
活動報告書の提出は任意であるが、その内容に関連させてプレゼンテーションをすることが望
ましい。

以上